

一般社団法人朝霞地区薬剤師会

あさやくだより

創刊号
2017

(一社)朝霞地区薬剤師会

発行人: 広報委員長 細川 玄機

〒351-0021朝霞市西弁財1-10-21-312号

TEL: 048-483-4125 FAX: 048-483-4126

asaka-ph@asakaph.or.jp

会報創刊ごあいさつ



今年度も半分が過ぎました。当地区の活動は理事や委員会委員に支えられ、相変わらず大変活発です。

しかしながら、これらの活動を会員に十分周知することも大切と考えており、会報発行を今年度の広報委員会の目標にしました。

何度か話し合いを行い、季刊誌で発行することになり、2017年秋号「あさやくだより 創刊号」の発行に至りました。今回は、殆どの記事を理事が担当しましたが、今後は会員の方々の投稿もお待ちしております。

昨年度までは会の基盤整備に追われましたが、今年度はいよいよ事業の充実力を注げそうです。初の試みとしての市民フォーラム、「在宅受け入れ薬局」の冊子作り、厚労省

の技官を招いた健康サポート薬局についての研修、などはほぼ見通しつき、行政や医師会と連携したポリファーマシー対策事業も準備中です。

さて、会長としての今の課題は、これらの事業を推進するためにも財務基盤をもう少し確保する事、次世代に続く会にするためにも勤務薬剤師の加入を促進する事です。夢は、朝霞地区に勤務する薬剤師の全員加入。現在は、年5000円の個人会費で携帯のメールにいろいろな行事予定が届きます。研修会参加費も会員割引があります。かかりつけ薬剤師としての地域貢献には薬剤師会への参加が必須と考えます。この会報が届いた方は、是非周りの未加入の薬剤師さんにも回覧ください。

(会長 畑中 典子)

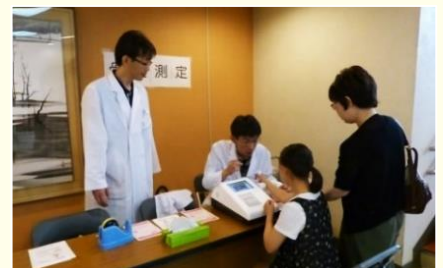
市民フォーラム 報告 7月23日

いつも薬剤師のための研修会を企画しながらも、もっと地域に密着した薬剤師会をと意識した時から、市民向けの学びの場を提供できればと考えていました。

この度、子どもたちも参加できる市民フォーラム「母と娘のための市民フォーラム 女性のからだの不思議 自分の体を知ろう」を企画、朝霞地区4市の小・中・高校へチラシを配布し、夏休みに入ったばかりの日曜日、保健の先生、子どもの体を心配する親御さん、そして更年期などの悩みをお持ちの方々が参加されました。

講師の紫苑婦人科クリニックの今井加納子先生はとてもユニークな先生で、女性のホルモンバランスの流れや、不妊治療の話、さらに現代っ子の性の事情にも踏み込みあつと言う間の時間でした。

終演後ロビー交流会では先生への相談、血圧、骨量、酸素飽和濃度測定、お薬相談などを行い、地域貢献対象の取り組みとなりました。(副会長 渡邊 美知子)



第3回定時社員総会・懇親会報告

6月15日(木)



6月15日(木)、シティ・イン北朝霞瑠璃において当会の定時総会が開催されました。

個人・薬局会員187名中、出席23名、委任状・議決権行使書を合わせて139名、あらかじめ提示された議案についてすべて賛成をいただき、続いて開催された臨時理事会で会長畑中典子とする旨決定しました。

午後9時からは懇親会が開かれ、会員の皆様方と未来の薬剤師の夢なども語り合う親睦の時を持つことができました。

法人化して3年目、関連団体との連携を深め、地域の資源として活躍できる薬局・薬剤師になるためのサポートに力を注いでいきたいと思います。

(副会長 清水 勝子)

実務実習委員会は
実習受け入れ薬局のサポートを行っております

今年の夏は中学3年生の息子と高校見学会を巡ってきました。田舎育ちの私は首都圏の受験にオロオロするばかり、しかも、自分の受験は遠い記憶過ぎて役に立ちません。実務実習に来る学生さんの方が良く分かっており、教えて頂きたいぐらいダメでした。

皆様は、ここ朝霞地区でも薬学生実務実習が行われているのを、ご存知でしたか？

当地区での今年度受け入れ学生は36名、毎年多くの受け入れ薬局、指導薬剤師達に支えられながら実務実習が行われております。実習の受け入れは大変ですが、業務の見直しや自分自身のスキルアップに繋がりますし、今の大学で行われている指導内容を知るとビックリしますよ。

指導薬剤師になってみたい、受け入れは難しいけどお手伝いしてみたいなど、興味を持たれた方がおられましたらお気軽にご相談下さい。どなたでも大歓迎です。

(実務実習委員長 平田 修士)

三師会青年部主催日帰りバスツアー♪

9月10日(日)

皆さん三師会ってご存知ですか？
 医師会・歯科医師会・薬剤師会の三師が学術や旅行などを通じて親睦を深める会です。そして、毎年人気のバス旅行、今年は群馬県に行ってきました。
 まずは「群馬サファリパーク」。
 乗ってきたバスでパーク内を見学し、首の長いキリンやお尻の大きいゾウ、迫力満点なホワイトタイガーなどを間近で観察しました。
 お昼は、舌切り雀のお宿でもある旅館で、皆美味しいお料理に舌鼓！
 次は世界遺産「富岡製糸場」へ。繭から生糸を取る繰糸所など、様々な建物

を見学しながら歴史に触れました。
 最後は話題の「こんにやくパーク」。工場見学&こんにやく食べ放題などお土産もどっさり、特にこんにやくラーメンはヘルシーで味は最高でした。
 毎年、このような楽しい旅行が企画され、多くの医療機関が参加しています。普段とは違う先生方の姿も見られ、先生との距離感も縮まりますよ。
 三師会は、朝霞地区に居住、または勤務する薬剤師の方ならどなたでも入れます。地区薬剤師会の個人会員と併せて、ぜひご入会ください。
 (三師会青年部 大八木 実)



「三師会」に入りませんか？

三師会は会員相互の交友と研鑽を目的に、親睦会、講演会などを開催しています。委員会活動やバス旅行の他に、「俳句の会」や「走友会」などのサークルもあります。

入会申込書はこちら！



皆様のお申込みをお待ちしています。
 入会金なし、年会費5,000円

俳句を楽しむ

三師会の俳句の会に入って16年、錆び付いた頭に季語や想いが混乱したのを思い出します。今でも言葉を削ぎ落とす作業は日常と違う時間でもあり、よくぞ続いているなと我ながら感心しています。昨年9月に2回、青森へ。そのときの句です。

(渡邊 美知子)

岩木山
 ぼっかり九月の
 空にあり
 渡邊みち草

津軽ゆく
 鈴虫列車
 メロス号

第13回朝霞地区医学会総会報告

9月2日(土)

毎年この時期に開催される朝霞地区医師会主催のこの学会は、地域に根差したテーマで発表者は地区内の医療・介護職など多岐にわたります。薬剤師も気軽に足を運べて地域内の医療・介護職の方々と直接お会いして話を伺える貴重な場です。
 今回のテーマは「地域で診る認知症」、パネルディスカッションでは医師・歯科医師・病院のソーシャルワーカーに交じり、

薬剤師の武笠さんが薬剤師だからこそ可能な、患者さんを五感で「観て」状態を把握し、処方方を「鑑る」ことでポリファーマシーをチェックし、認知機能低下のリスクを発見することができると発表されました。
 来年度からスタートする「地域包括ケア」に向けて、様々な職種との協働が求められる中、顔の見える充実した学習の機会でした。
 (清水 勝子)



勉強会、やってみませんか？

皆さんは、「こんなことを勉強してみたいけど、自分1人ではちょっと無理そう。」ということはありませんか？
 もしあったら、勉強会を企画するチャンスです。
 私・田代は、朝霞地区薬剤師会に参加したばかりの頃に、何回かパソコン教室を開催したことがあります。その後、個人的に英語の臨床医学のテキストを数名で1章ずつ輪読するという勉強会を長期間行ったことがあります、非常に

楽しく刺激を受けながら勉強を続けることができました。
 他には、プロの写真家の勝山さんの下での写真教室や、松永前会長による星空観察会といったイベントもありました。堅苦しい勉強ではなく趣味のようなものでもいいと思います。
 会員の皆さんもぜひ、気軽にイベントを企画して参加者を募ってみてください。
 ご連絡は事務局まで。

(副会長 田代 健)



「自治体や医師会などと協働した ポリファーマシー対策事業」を企画立案中です。

高齢者医薬品適正使用検討会（平成29年7月14日厚労省）によれば、高齢者の多剤併用は、75歳以上、複数の医療機関受診、6剤以上において有害事象の頻度が上がる、と報告されています。でも、解決に向けての有効なエビデンスはなく、今後は高齢者の安全な薬物治療に向けての情報収集が必須で、それに基づき「高齢者の内服薬の多剤併用に関する適正使用ガイドライン」の作成が必要と提言されています。

その方法として、レセプト情報などのデータベースを用いた調査が提案されています。今回、私たちは、4市自治体及び朝霞地区医師会に働きかけ、「匿名化されたレセプトデータを用いて有害事象に繋がる可能性のある事例を抽出し、その対応方法について検討する」という事業提案を行いました。そこに至る経緯には、ポリファーマシーの研修会等で多くの示唆をご教授下さる、今井博久教授（東京大

学大学院医学系研究科地域医薬システム学）との幸運な出会いがあります。今回も外部顧問として参加いただくことになりました。

現在、地区理事を中心に自治体、医師会、今井先生を含め、具体的な方法について検討作業中です。課題は多いですが、必ず有意義な成果につながると期待しています。

事業目的は、「高齢者医療の安全と安心に地域で主体的に関わる」。そのためにも、医師会や自治体との協力連携が重要なポイントとなります。またこの事業は、薬剤師の情報収集力と発信力、まさにコミュニケーション力が問われるものでもあります。会員の皆様には、改めて文書にて詳細とご協力のお願いを発信いたします。

(畑中 典子)

地区第1号の健康サポート薬局誕生

9月6日、朝霞地区第1号で健康サポート薬局の認可が、木の実薬局（新座市）におりました。

木の実薬局

〒352-0022

新座市本多1-3-9

TEL：048-480-0177

FAX：048-480-0178



薬剤師会は、次に続く薬局に期待し応援します。

これがオススメ！「解消！ポリファーマシー」

ポリファーマシー事業の提唱者、今井先生の本です。サブタイトルは「上手なくすりの減らし方」、

前書きでお書きになっている内容を読めば、私たち薬剤師に向けて熱いメッセージを感じ取れます。

当地区での事業に関連して先生とお話をする機会を得て、益々薬剤師の出番だと感じました。顔の見える地域の薬剤師だからこそ、処方元の医師との調整も可能になるのではないのでしょうか？

この機会にぜひ一読をおすすめします。(清水 勝子)



そうだ、学会へ行こう！

10月8日(日)・9日(月・祝)

記念すべき第50回日本薬剤師会学術大会が東京国際フォーラムで開催されます。テーマは、「Pharmacists Practicing with Pride～新たな時代に向けて、さらなる飛躍～」です。

大きなテーマですが、医療人として高い倫理観と誇りをもって薬剤師としての使命を果たすことを目指して全国の薬剤師と交流してみませんか？

明日からの業務に活かせる知識を得ることができ、忙しさに紛れて置いてきぼりになっている薬剤師としての意識を高めるチャンスです。朝霞地区と有楽町線一本でつながっている今年の学会を、ちょっと覗いてみませんか？ 詳しくは学会ホームページで。(清水 勝子)

日本薬剤師会学術大会公式サイトはこちら！



保険制度研修会(10月3日開催) 講師・浦克彰先生のご紹介

厚生労働省保険局医療課の浦克彰課長補佐は、平成27年に健康サポート薬局のコンセプトを打ち出した「患者のための薬局ビジョン」を取りまとめられた方です。健康サポート薬局という制度の背景や理念について解説していただくにあたって、これ以上ふさわしい方はいません。

このビジョンの策定時には医薬・生活衛生局総務課に在籍していらっしゃいましたが、その後イギリスに長期出張され、今年の春帰国されてからは現在の部署で調剤報酬を担当なさっています。

現在は来春の調剤報酬改定を巡って多忙を極めていらっしゃる時期のようですが、目先の技術論ではなく、薬局は本来どのような価値を地域に提供していくべきなのか？と

いった本質的な問題について、肩肘張らずに議論していただけたと思います。

<朝霞地区薬剤師会との関係について>

筆者が所属している薬局経営者の団体（保険薬局経営者連合会）の会議に浦先生にご参加いただき、「薬局のかかりつけ度をどのように定量化するか」などといったテーマについて議論させていただく機会がありました。その後も議論を重ねさせていただいており、朝霞地区の薬剤師とも幅広く意見交換をする場を設けられればと思い、ご講演をお願いしました。(田代 健)



研修会申込書はこちら！

健康まつり参加者募集中

毎年恒例の4市健康まつり、今年も参加者を募集しております。参加を希望される方は、参加申込書にご記入の上、当会事務局までFAXまたはメールにてお申込みください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。（新座市の募集は終了しました）

地域活動参加証明書も発行いたします。

（発行手数料 会員 1,000円 非会員 3,000円）

参加申込書はこちら！



志木市 10月15日（日）	志木市健康増進センター 9時～15時	募集人数 4名
和光市BOSAIフェア 10月22日（日）	和光市樹林後援 9時～13時	募集人数 3～4名
和光市 11月12日（日）	和光市保健センター 10時～15時	募集人数 4～5名
朝霞市 11月23日（木）	朝霞市健康増進センター 10時～15時	募集人数 10～12名

各市とも募集人数に達した時点で締め切らせていただきます。参加の可否につきましては、ご参加いただくことになった方に詳細についてご連絡を差し上げます。

個人会員募集中

<会員薬局で働く薬剤師の皆様>
地区薬剤師会の個人会員になりませんか？
入会金5,000円。年会費5,000円です。

特典



- ✓ 当会主催の研修会参加費の割引
会員 1,000円 非会員 3,000円
（平成29年度の場合）
- ✓ 各種講座やイベントに優先的に参加
- ✓ 会員限定のメーリングリストでの情報受信
- ✓ 会報・その他資料の送付

埼玉県薬剤師会B会員になっていただくことも期待しております。
県薬剤師会では、ただいま入会促進キャンペーン実施中（平成30年1月まで）、5,000円分の図書カードが貰えます。
皆様のご入会、心よりお待ちしております。

入会申込書はこちら！



研修会・講演会のお知らせ 当会主催の研修会は 参加費 会員1,000円 会員外3,000円 学生は無料です

➤ 保険制度委員会研修会

10月3日（火） 19：00～21：00

志木ふれあいプラザ（志木駅東口 丸井8階）

「地域包括ケアシステムの中で求められる薬剤師の姿」
厚生労働省 保険局医療課 課長補佐 浦 克彰先生

➤ 学校薬剤師研修会

11月7日（火） 19：30～21：30

志木ふれあいプラザ（志木駅東口 丸井8階）

「くすりを使う時の12の約束」(仮)
東京薬科大学薬学部客員教授 宮本法子先生

➤ 埼玉県薬剤師会学術大会

11月5日（日） 10：00～16：00

埼玉県民健康センター 大ホール
メインテーマ

「一歩先のかかりつけ薬剤師」

プログラム
申込書はこちら！



各種研修会情報は
こちらで随時更新中！



変更届提出のお願い！

開設者、管理薬剤師が変わったときには、関東信越厚生局、保健所だけでなく、地区薬剤師会、県薬剤師会、薬剤師連盟にも届け出をする必要があります。

関東信越厚生局、保健所、地区薬剤師会、県薬剤師会の情報の連携を保つためにも、ご協力をお願いいたします。

まずは事務局に
ご連絡下さい！



編集後記

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。皆さんは どの秋を堪能されていますか。昨年度から広報委員会の活動目標に掲げていた、朝霞地区薬剤師会の会報誌「あさやくだより」が、広報委員全員手探りで誌面作りに取り組み、ようやく発行にこぎつけました。

これにより、皆様に会の活動を知っていただき、参加して頂ければ幸いです。また、ご意見等もどしどしお寄せ下さい。

さらに、朝霞地区薬剤師会のホームページにも会の情報を掲載しております。合わせてご覧頂ければと思います。

最後に、誌面作成に当たりご協力頂いた皆様には、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。
（広報委員長 細川 玄機）

（一社）朝霞地区薬剤師会
〒351-0021

朝霞市西弁財1-10-21-312号

TEL：048-483-4125

FAX：048-483-4126

E-mail

asaka-ph@asakaph.or.jp

